

🍷 2025年ワインパーティ実施レポート 🍷

2025年8月10日(日)に、杉並区下井草にある「花の街」でワインパーティが開催されました。日本ニュージーランド協会(NZSJ)の会員とゲストをあわせ、総勢14名が参加しました。ニュージーランドにゆかりのある皆さんが集まり、和やかで楽しいひとときを過ごしました。

日時：2025年8月10日(日)13:00~16:00

会場：『花の街』〒167-0022 東京都杉並区下井草4-28-12

会費：5,000円(仕出し弁当🍱+飲物🍷🍹など)

NZSJ会長をはじめ、役員や会員の皆様、さらにニュージーランド大使館員の方やソプラノ歌手の方など、さまざまなゲストにご参加いただきました。(順不同、敬称略)

- | | |
|-------------------------------|-----------------------|
| ① 山崎弘子(NZSJ 会長) | ⑧ 八木倫明(NZSJ 会員 ケーナ奏者) |
| ② 水野伸夫(NZSJ 副会長) | ⑨ 宮崎智世(ゲスト NZ 大使館員) |
| ③ 神谷尚武(NZSJ 理事) | ⑩ 高松京子(ゲスト ソプラノ歌手) |
| ④ 佐藤松雄(NZSJ 理事 会計) | ⑪ 粕谷海人(ゲスト 元 NZ 留学生) |
| ⑤ 片山愛一(NZSJ 理事 ウクレレ持参) | ⑫ 森田純子(ゲスト 教員) |
| ⑥ 丸山有紀子(NZSJ 理事) | ⑬ 庄司千賀子(ホスト 有花理さん) |
| ⑦ 大王和弘(NZSJ 会員 Chor Famer 団員) | ⑭ 有花理さんのご友人(サポート) |



開会にあたり、NZSJ会長の山崎さんの発声で乾杯し、ニュージーランドへの敬意を込めてニュージーランド国歌を歌いました。その後は、参加者がそれぞれのニュージーランドにまつわる思い出や経験、日頃の活動について語り、交流を深めました。

今回、特別ゲストとして元ニュージーランド留學生の粕谷海人さんが参加してくれました。ニュージーランドのオークランドで高校・大学の7年間を過ごした粕谷さんの立派な姿に、参加者一同、感銘を受けました。留学中に協会へ寄稿してくれたことに対し、山崎会長から感謝の言葉が贈られました。今後、当協会のメンバーとして日本とニュージーランドの架け橋になってくれることを願っています。

また、ニュージーランド大使館員の宮崎さんからは、ニュージーランドの政治情勢や大使館の動向について貴重なお話を伺うことができました。その中で宮崎さんから、ニュージーランドとの親交イベントの場で披露するのにふさわしい「日本を代表する唄」は無いでしょうか？との問いかけに対して、ソプラノ歌手の高松さんより手話付きの『故郷』と『富士の山』が実演紹介され、全員で見様見真似の手振りを添えて歌ったことにより、会場が一体となりました。



日本一のケーナ奏者である八木倫明さんによる演奏も披露され、素晴らしい音色が会場に響き渡りました。

ニュージーランドのクック山でのスキーの思い出話とともに演奏された「灰色の瞳」と「コンドルは飛んでいく」は特に印象的でした。

ソプラノ歌手の高松京子さんからは、素晴らしい歌声の披露に加え、ご自身のコンサートで紹介している映画「お母さんの被曝ピアノ」への深い想いを語っていただきました。その熱意に心を打たれました。

その他にも、Chor Farmer の豪州・ニュージーランド遠征コンサート活動を紹介する中で、第二次世界大戦中にフェザーストン捕虜収容所で起きた日本兵とニュージーランド兵の殺傷事件と、その場所でのコーラスを通じた国際親善の様子についてのお話、森田さんからはニュージーランドでの語学留学の問題点についてのお話など、話題は尽きませんでした。夢のような3時間はあっという間に過ぎていきました。

謝 辞

今回のワインパーティーは、皆様のご協力により盛会のうちに終わることができました。ホスト役を務めてくださった庄司のご令室有花理さん、ご子息、ご友人の方々、そして差し入れをくださった方々にも心より感謝申し上げます。

今回残念ながら参加できなかった森尚美会員からは、タップナードソース2種、ラスク2種、黄色くて小さいマクワウリなどの差し入れに加えて、佐原における近況を綴った手紙と12枚の写真が届き、皆で回覧させていただきました。また、企画と準備をしてくださった片山理事にも、心より御礼申し上げます。



森尚美さん in 佐原祭り

(執筆者・大王)